

私の夢

カンボジは発展途上国ですが、今の経済は10年前よりよくなりました。都会に住んでいる人達の生活は便利で、学校もあるし、病院もあるし、電気もあるし、それにイオンみたいなスーパーもあります。

ある日私はNGOのプロジェクトに参加しました。ボランティアとして田舎へホームステイしに行きました。みんなの生活がよく分かりました。田舎には何もありません。電気もないし、病院もないし、市場もないです。毎日の生活はとても不便で、大変でした。

村の子供達はあまり学校へ行きません。家族のために学校をやめて仕事をします。私はその子供達の人生を見ると、ちょっと不公平だと思います。なんで田舎の子供達は町に住んでいる子供達より大変ですか。なんで同じチャンスがもらえませんか。

私はよくその事を考えます。もし状況はそのままだらう、子供の将来はよくないです。

だから、私の将来の夢は先生になつてその田舎の子供達に日本語を教えたいです。私は子供達に明るい未来がもらつてほしいです。幸せになつてほしいです。もしその子供は知識があれば、いい仕事ができます。家族の事も助けます。将来も明るくなります。知識があつて大人になつたら、人的資本になるはずでです。多い人村があつたら、カンボジア国が発展できると思つています。

私はマジックがありません。でもその夢をかなうために、毎日日本語をがんばつて勉強して、将来いい先生になつて、田舎の子供達に日本語だけでなくいろいろな事も教えます。今も、もし暇ならボランティアをして、田舎に行つて子供に日本語を教えるつもりです。

いつかあの子供達は自分の村が発展できて、次の村の世代も便利な生活を暮らして、みんな満足にして、幸せになつていれると思います。